

2023年 4月13日朝刊

取り壊された戦争遺跡 音声ガイドで



看板のQRコードをスマートフォンで読み込み、音声ガイドを確認する島田近代遺産学会のメンバーら＝3月下旬、島田市牛尾

若者の声、技術が 郷土史を紡ぐ

島田・牛尾実験所跡

取り壊された旧海軍の極秘研究実験所跡の歴史を若者の声と現代技術で語り継ぐ。太平洋戦争中に島田市に存在し、強力電波兵器を研究した戦争遺跡の「第二海軍技術廠（しょう）牛尾実験所跡」を、歴史遺産を後世に伝えるために、島田近代遺産学会（新聞雅巳代表）が地元高校生やベンチャー企業と協力し、音声ガイドを制作した。跡地近くにQRコード付き看板を設け、スマートフォンで読み込むと、いつでもどこでも歴史に耳を傾けることができる。

同実験所跡は2015年に国による大井川の河道拡幅工事で取り壊された。近くに説明板があったものの、「戦争遺跡の風化が危惧されていた」（新聞代表）という。そんな中、静岡市のベンチャー企業「Otono」が展開する位置情報を利用した音声コンテンツを知り、島田市の補助金などを活用して事業を計画した。

同学会メンバーで、島田種誠高等学校副校長の小林大治郎教諭（61）が、部員に音声ガイド役を任せ、自身も郷土史を研究する小林教諭は、戦後77年が過ぎ語り部が減る中、若い高校生が語り継ぐ役目を果たしてくれれば歴史を紡いでいけると言葉に力を込める。

音声ガイドは計6カ所を紹介する。同じく戦争遺跡の「島田実験所

Q 第二海軍技術廠（しょう）牛尾実験所
現在の新東海製紙島田工場敷地内にあった「島田実験所」の疎開先として、終戦間際に建設が進んだ。建設途中に電源室のアーチ型屋根が倒壊する事故が起り、そのまま終戦を迎えた。島田実験所には、後にノーベル物理学賞を受賞する湯川秀樹や朝永振一郎ら第一線の科学者も出入りした。「マグネトロン（磁電管）」で強力な電波を発生させ、敵飛行機のエンジンや計器を故障させる研究などを行った。東京から日帰りが可能な距離に位置し、大井川上流にはダムがあり、実験に必要な電力が確保できたという。

跡」は、島田宿大井川越遺跡や大井川鉄道合格駅なども盛り込み、親子みやすくした。案内役の高校生や、同学会メンバーや市博物館の学芸員らによる掛け合い形式で、2～3分程度にまとめた。ガイド役を務め、今春同校を卒業した大野由愛さん（19）は「聞きやすいし、自然な話し方を心がけた。島田の歴史を知る機会にもなった」と話す。

同学会は市博物館や市観光協会とも協力し、QRコード入りのチラシを市内観光施設などで配布する予定。新聞代表（57）は「新たな歴史の証言が見つかることにもつながれば」と期待を込める。

（島田支局・寺田将人

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①太平洋戦争中に島田市に存在し、強力電波兵器を研究した戦争遺跡のことを何というか。記事の中から抜き出して答えなさい。

（ ）

- ②問1の研究のために現在の島田市を訪れた、後に日本で初めてノーベル（物理学）賞を受賞した人物とは誰か。

（ ）

- ③島田市の歴史遺産を後世に伝えるために、島田近代遺産学会が地元高校生やベンチャー企業と協力して制作した音声ガイドにはどのような特徴があるか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。

＜ スマートフォン、島田宿大井川川越遺跡 ＞

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）

2023年 4月13日朝刊

取り壊された戦争遺跡 音声ガイドで



看板のQRコードをスマートフォンで読み込み、音声ガイドを確認する島田近代遺産学会のメンバーら＝3月下旬、島田市牛尾

若者の声、技術が 郷土史を紡ぐ

島田・牛尾実験所跡

取り壊された旧海軍の極秘研究実験所跡の歴史を若者の声と現代技術で語り継ぐ。太平洋戦争中に島田市に存在し、強力電波兵器を研究した戦争遺跡の「第二海軍技術廠（しょう）牛尾実験所跡」を、島田近代遺産学会（新聞代表）が地元高校生やベンチャー企業と協力し、音声ガイドを制作した。跡地近くにQRコード付き看板を設け、スマートフォンで読み込むと、いつでもどこでも歴史に耳を傾けることができる。

同実験所跡は2015年に国による大井川の河道拡幅工事で取り壊された。近くに説明板があったものの、「戦争遺跡の風化が危惧されていた」（新聞代表）という。そんな中、静岡市のベンチャー企業「Otono」が展開する位置情報を利用した音声コンテンツを知り、島田市の補助金などを活用して事業を計画した。

同学会メンバーで、島田稲城高演劇部顧問の小林大治郎教諭（61）が部員に音声ガイド役を任せ、自身も郷土史を研究する小林教諭は、戦後77年が過ぎ語り部が減る中、若い高校生が語り継ぐ役目を果たしてくれれば歴史を紡いでいけると言葉に力を込める。

音声ガイドは計6カ所を紹介する。同じく戦争遺跡の「島田実験所

Q 第二海軍技術廠（しょう）牛尾実験所 現在の新東海製紙島田工場敷地内にあった「島田実験所」の疎開先として、終戦間際に建設が進んだ。建設途中に電源室のアーチ型屋根が倒壊する事故が起り、そのまま終戦を迎えた。島田実験所には、後にノーベル物理学賞を受賞する湯川秀樹や朝永振一郎ら第一線の科学者も出入りした。「マグネトロン（磁電管）」で強力な電波を発生させ、敵飛行機のエンジンや計器を故障させる研究などを行った。東京から日帰り可能な距離に位置し、大井川上流にはダムがあり、実験に必要な電力が確保できたという。

跡」、島田宿大井川越遺跡や大井川鉄道合格駅なども盛り込み、親子みやすくした。案内役の高校生で、同学会メンバーや市博物館の学芸員らによる掛け合い形式で、2～3分程度にまとめた。ガイド役を務め、今春同校を卒業した大野由愛さん（19）は「聞きやすいし、自然な話し方を心がけた。島田の歴史を知る機会にもなった」と話す。

同学会は市博物館や市観光協会とも協力し、QRコード入りのチラシを市内観光施設などで配布する予定。新聞代表（57）は「新たな歴史の証言が見つかることにもつながれば」と期待を込める。

（島田支部・寺田将人

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①太平洋戦争中に島田市に存在し、強力電波兵器を研究した戦争遺跡のことを何というか。記事の中から抜き出して答えなさい。

（ **第二海軍技術廠牛尾実験所跡** ）

- ②問1の研究のために現在の島田市を訪れた、後に日本で初めてノーベル（物理学）賞を受賞した人物とは誰か。

（ **湯川 秀樹** ）

- ③島田市の歴史遺産を後世に伝えるために、島田近代遺産学会が地元高校生やベンチャー企業と協力して制作した音声ガイドにはどのような特徴があるか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。

＜ スマートフォン、島田宿大井川越遺跡 ＞

例 歴史遺産の跡地近くに設けたQRコード付き看板をスマートフォンで読み込むと、地元の高校生が中心に案内役として島田実験所跡のほか、島田市大井川川越遺跡など市内6カ所を伝えてくれること。

作問者：NIEアドバイザー 伊藤 大介（静岡聖光学院中学校・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）